



## **REHACARE 2018 国際リハビリテーション・福祉・介護機材展 ファイナルレポート**

**2018年9月26日～29日 / ドイツ・デュッセルドルフ**

### **REHACARE 2018 : 自立生活への多くのインスピレーションを発信**

**50,600**名のビジターがリハビリや介護の国際的なメッセ、**REHACARE**を訪問。自立生活に必要な製品やテクノロジーに高い関心。出展者数、ビジター数とも過去最大での開催



デュッセルドルフで毎秋開催される福祉・リハビリ機器などの国際見本市 [REHACARE 2018 \(国際リハビリテーション・福祉・介護機材展\)](#) は、42 か国から 967 の出展者、50,600 名のビジターと、過去最大の規模で開催された。

会場となった 6 つのホールは、リハビリ、介護のイノベーティブな製品展示や、障害者スポーツやアートなどのテーマパークとしてフルに使用され、国際的なエキスパートの来場だけではなく、エンドユーザーやその家族も多数来場し、自立生活に向けた最新製品のチェックや情報収集に余念がなかった。

「障害者や高齢者が日常生活をアクティブなものとするための介護機器や製品に関する共有が **REHACARE** の重要なテーマの 1 つとなります。人口統計に見られるように高齢化社会が進む中で、自立生活を目指す高齢者も増加する反面、介護に携わる関係者も増加し、そこから発生する高性能な介護福祉製品へのニーズがマーケットを動かしています。出展者はドイツ国内外から多数ご参加いただきましたが、ベンチャーから大手企業まで、コンセプトとしてあるのは、如何に利用者の手助けができる製品を生み出していくことができるかという利用者目線です。デジタル化なども大きな注目点で、モビリティ関連製品への開発に大きな役割を果たしていることを今回の **REHACARE2018** でも実証されました」と主催者メッセ・デュッセルドルフのヘルスケア担当ディレクター、H.ギーゼンはコメントした。

ドイツの全国的な身体障害者の団体である連邦自助協議会（BAG Selbsthilfe）の専務理事である Dr. M.ダンナーは、同展で発表されるサービスや製品ラインナップの多様性や質の高さを称賛し、次のようにコメントした。

「REHACARE に参加すれば、障害を持つ方々が日常生活で必要とし、前向きな気持ちになれるハイテクな製品を多数ご覧いただけます。私ども自助協議会は、このような製品がドイツの保険対象となる製品カタログにアップデートされ、ユーザーの将来的な利益になることを願っています」

同協議会は、身体障害者、及び慢性的疾患患者、そしてその介護者に関連する 120 の組織で幅広く構成されています。

REHACARE の近年のトレンドは、上述の通り高齢者、障害者向けの「自立生活」が挙げられ、特に自力移動である「モビリティ」への注目度が高い。4 日間の会期中にはディストリビューターだけでなく、介護施設関係者、看護師や、障害者とその家族などのエンドユーザーが多数訪れ、ドイツ国内外から集まった最新のイノベーションな出展製品に触れ、有意義な時間を共有した。

モビリティには今回の来場者のおよそ 50%が関心を持つと回答し、歩行アシスト・システムや、コンピューター制御されたブレース、目の動きでコントロール可能な車いす等、先端技術に注目が集まった。同製品として日本からは WHILL の次世代型電動車いすや、初出展となった Honda の歩行アシストが展示され、製品デモが行われた。

来場者の関心が次いで高かったのは、ICT を利用したケア・サポートや、整形外科、リハビリに関するテクノロジーで、福祉車両が続いた。

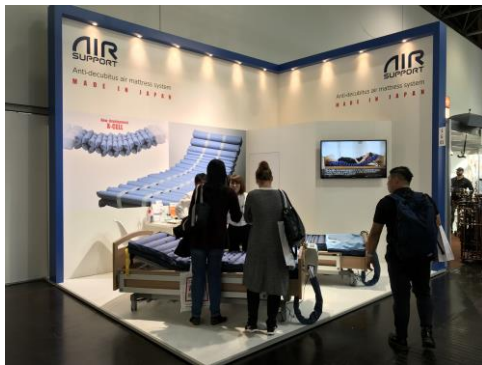
毎年、ホール 7a で開催されるスポーツ・センターは障害者がよりアクティブに活動するホールとして人気を呼んでいる。車いすでのサッカーや卓球、バドミントン、フェンシングをはじめ、ダンスも行われるが、今回初めて設置された車いすのハーフ・パイプは、スリリングさを備えたアクティビティとして注目を集めた。こういった障害者スポーツは、2020 東京パラリンピックに向けて、日本でも、より注目を集めるだろう。



日本から今回は 10 社（前回 2017 年：7 社）の出展参加があり、各社ともヨーロッパを中心とした海外マーケット開拓を目指したコンセプトの製品を展示発表し、商談を行った。おおむね商談は順調で、受注の獲得や今後に期待が持てる案件もあったと報告されている。

4 年連続でサポーターなどを出展した [ダイヤ工業株式会社](#) のコメント。

「例年と同じ場所で人通りも良く、今年も色々な国の方、色々な業種の方と意見交換できた。そして、弊社の目的の新規代理店の獲得も可能性が高いと感じています」



床ずれ防止を目的とした医療用エアマットにて初出展の [株式会社エアサポート](#) のコメント

「初めての出展でしたが、直接エンドユーザーの声や製品評価が得られたことなど、市場の変化や状態がよくわかり、これからの販売戦略の立案にも役立てるきっかけになりました。

ドイツ開催で、エンドユーザーの来場者が多い為、次回はドイツ語の通訳を用意しておく必要があると感じました」

次回 REHACARE は 2019 年 9 月 18 日～21 日にデュッセルドルフで開催される。

REHACARE に関する日本でのお問い合わせは：

(株)メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン 担当：服部

Tel.03-5210-9951 Fax.03-5210-9959

[mdi@messe-dus.co.jp](mailto:mdi@messe-dus.co.jp) <http://rehacare.co.jp>